

水 と 緑



前橋商工会議所青年部 緑水会

Maebashi Young Entrepreneurs Group Report



絆

- KIZUNA -



52

Photo:2010 Maebashimatsuri



平成23年度前橋商工会議所青年部 緑水会

NEW MAEBASHI YOUNG ENTREPRENEURS GROUP STRUCTURE

前列左から：森本克哉、永井鉄平、前田 修、町田憲昭、阿部知章、高野和之、稲村 啓
後列左から：福田聡樹、関 直人、倉林 健、宮下 学、長坂雅紀、平形敦史



平成23年度代表幹事
町田 憲昭

前橋商工会議所青年部緑水会 第23代代表幹事を務める町田憲昭です。

まずは先日の東日本大震災につきまして、被災地の皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

また、現地で昼夜を問わず救済活動にあたっている関係者の方々に深い敬意を払うものであり、慎み慰労を申し上げます。

かかる状況下で、昨年度に引き続き23年度の代表幹事という重責を託されたことの意義をしっかりと心に刻み、かつてない厳しい一年間となるでしょうが、私たち緑水会を支えてくださる皆様方に、勇気、元氣、そして明るい希望をご覧いただけるよう、緑水会の仲間とともに常に前向きな姿勢で青年部活動に邁進いたします。

緑水会は今年創立34周年を迎えました。昭和52年の発足以来、第1回全国大会開催や初代日本YEG会長輩出といった、全国約400の青年部の中でも格別の伝統を有しておりますが、これも全て歴代の先輩方のご尽力、また前橋市や親会の皆様方のご支援の賜物であり、この輝かしい歴史をさらに次の世代へとしっかりと継承していくことも、私たち現役会員の重要な責務となります。

本年度は通常の青年部活動に加えていくつかの新たな局面を迎えます。まずは群馬県商工会議所青年部連合会(以下県青連)の幹事が9年ぶりに前橋に廻ってきます。現代表幹事として私が県青連会長職を兼任することになりました。(※1)

※1 群馬県商工会議所青年部連合会

県内9市の青年部(前橋、伊勢崎、太田、桐生、館林、富岡、藤岡、渋川、沼田)が加盟し、毎年輪番制で幹事を務める。ちなみ昭和58年に発足され初代から第3代までは前橋が会長職を務めた。



これからの県青連の在り方を再構築し、県内9市青年部の連携をより強化してまいります。

ます。

また今年度は北関東3県都青年部連携事業としての大型プロジェクト「MUM前橋大会」を予定しています。(※2)

※2 MUM

前橋・宇都宮・水戸の北関東3県都青年部連携事業。MUM(マム)の由来は3市の頭文字、さらにMeet(会つ) Understand(知る) Move(動く)から。

北関東道開通により交流が深まる3県の連携事業を目指して昨年3月に発足。昨年度は宇都宮YEG主幹によって、3県都の特産品を活かした新料理「つまみつながるきたかん餃子」が開発された。



前橋・宇都宮・水戸を繋げる北関東道の開通、そして群馬デスティネーションキャンペーンも行われるこの機会に、緑水会が企画開発した「ご当地グルメ 前橋うTON飯」や県内外各地のご当地グルメと連携し、前橋のみならず群馬県全体から北関東全域への地域貢献までも視野に入れたイベントを検討しています。

さらに「平成27年度全国会長研修会」を前橋で開催するため、昨年6月定時総会にて誘致立候補する旨が全員賛成で正式決定しました。そして本年度は、具体的な誘致プランの策定および開催に関する準備全般を遂行するために、誘致準備委員会を発足します。(※3)

※3

全国会長研修会

全国大会、ブロック大会と並ぶ日本YEG3大会の一つ。全国約400の青年部から現会長、次年度会長予定者等1000名以上が参加する年に一度の研修会。緑水会では「虚飾を廃した本来あるべき研修会」の誘致開催を目指して、3年前から議論、調査、検討が始まった。



本年度も緑水会110有余名のメンバーが、総務・広報・会員・経営・地域・事業の各委員会に分かれて多種多様な活動を展開してまいります。青年経済人としての自己研鑽、市街地活性化、前橋市政への参画、人脈形成から親睦交流など、それぞれの事業内容や手段は異なっていますが、目指しているものは皆同じです。

「会員それぞれの企業の発展と地域の活性化への貢献を通じて、会員自らが成長する出会いと学びの場」これが私たち緑水会の基本理念であり、先輩方が築き上げてこられた過去34年間、そして将来の新しい世代へと続く不変の目的です。

前橋で商売を営む中小企業経営者である私たちにとって、地元を愛しこの前橋がもっともっと元気になってもらうことが大事であり、さらに子供達がこの前橋で商売を継いで行きたいと思えなければならぬ今年度もこの目的にぶれない会の運営をしてまいります。「会員一人一人を強い経営者に、そして地域愛へ」をテーマとし、「絆」の力を信じて、目的を共にする素晴らしい仲間と共にこの一年を過ごしたいと思えます。



平成23年度直前代表幹事

前田 修 次世代への期待

我々、緑水会メンバーは沢山の事業活動から青年経済人として自己研鑽に務め、家業・企業への発展を目標とすることで地域の活性化を目指し、子供たちの未来のために前橋市の活気を取り戻していきたいと思っております。平成22年度はご当地グルメの開発や青少年の育成としてスポーツ事業、経営者として必要な勉強会等本場に多くの事業活動を行ってきました。そして、この平成23年度は群馬県商工会議所青年部連合会の会長を前橋より輩出し、更に平成27年度に開催される全国会長研修会の誘致に向けて全国に前橋の名を広めていく年となっております。それには110名のメンバーが町田憲昭代表幹事を核とし、一丸となってベクトルを同じ方向に向け大きく飛躍していかなければなりません。決して軸をぶれる事なくこれからの一年間を大切に緑水会活動に励んで頂きたいと思えます。直前代表幹事として皆さんの支えになるよう頑張りたいと思えますので宜しくお願い致します。

観光推進



上州空っ風凧揚げ大会

未来の子どもたちのために

事業委員会は主に外部に向けての活動、青少年育成や観光に関する事業を行っています。

前橋市や観光コンベンション協会と連携して、20年程前から凧揚げ大会やローズクイーンの運営を続けてきました。さらに他所の観光イベント研修、ならびに自己研鑽を目的とし、国内、海外の視察研修旅行も実施しています。

また近年では野球やサッカー等を通じて青少年育成活動にも力を入れています。

☆ローズクイーン

前橋の観光特使ローズクイーンについて、毎年4月のコンテスト主催から研修、デビュー、さまざまなイベント出演をサポートします。



☆青少年育成推進事業

群馬ダイヤモンドペガサスの現役選手による少年野球チームの実技指導やサイン会を開催し、スポーツを通じて青少年育成を図ります。

☆上州空っ風凧揚げ大会

冬の観光イベントとして毎年2月に利根川河川敷で開催、大凧揚げからスポーツカイト実演、子どもたちの凧揚げコンテストなど、多くの市民に楽しんでいただきます。



平成22年度事業委員長

町田信明

「わー揚げがった 揚げがった あー終わっちゃった」3度目に揚げがった大凧が着地した瞬間、母親に手を繋かれた小さな女の子が言った。同時に俺の心の中で「あー終わっちゃったなあ、俺の事業委員長 本当はまだまだやらなければならぬ事は沢山あるあるはずなのだ」。

今年度の事業委員会、何とか無事に着地できそうだが、今日の大凧より高く揚げる事が出来たのかなあ。

ローズクイーンコンテスト、海外視察研修、少年野球教室、凧揚げ大会、前橋祭りだんべえ部会。

大凧と同じで、みんなに引張ってもらった事業委員会。

世間でよく「貴重な体験をさせて頂きました」なんていう言葉を耳にするのが、俺にとって緑水会の委員長がまさにそれだ。

平成23年度事業委員長

平形敦史

観光推進と青少年育成を両輪に魅力あるイベントを実施します。



町田信明

平形敦史

この紙面では語りきれないが、仲間との絆が深まり、成長できるチャンスを与えられ、少なからずとも「わが前橋」に貢献でき。それだけで十分じゃないか。

平成22年度事業委員会メンバー

- ★ 町田信明 (卒業)
- ★ 中田和郎 (卒業)
- ★ 関 直人 (今年度/事業委員会)
- ★ 平形敦史 (今年度/地域委員会)
- ★ 井坂孝次 (今年度/経営委員会)
- ★ 吉田将輝 (今年度/事業委員会)
- ★ 中津山俊輔 (卒業)
- ★ 田村幸雄 (今年度/総務委員会)
- ★ 星野洋一 (今年度/事業委員会)
- ★ 大崎政俊 (今年度/事業委員会)
- ★ 川本憲和 (今年度/広報委員会)
- ★ 五十嵐勝治 (今年度/事業委員会)
- ★ 亀井太一 (今年度/事業委員会)
- ★ 羽生田泰文 (今年度/事業委員会)
- ★ 町田晶也 (今年度/広報委員会)
- ★ 牧口幸弘 (今年度/経営委員会)
- ★ 田子宏美 (今年度/事業委員会)
- ★ 市川麻紀 (今年度/事業委員会)
- ★ 高木訓之 (今年度/事業委員会)
- ★ 下山達也 (今年度/総務委員会)
- ★ 池下敦洋 (今年度/総務委員会)

★委員長 ★副委員長 ★理事 ★担当副代表

地域貢献



圃植え体験

人づくりから町づくりへと 進歩するために

地域委員会は前橋市の活性化に直結する活動を担当します。中心市街地商店街との合同イベント、前橋市の福祉事業に寄与するチャリティ活動、市民を無料招待しての演芸会などの事業を開催しています。また近年はとくに「食による町おこし」をテーマに、米作りや地元食材を活かした新料理の開発を企画し、その成果としてご当地グルメ「前橋うTON飯」が誕生しました。

☆地域振興事業

中心市街地商店街の花壇作りや七夕祭りクリーン作戦などのボランティア活動、うTON飯を企画した地域活性ワークショップを実施しています。

☆チャリティ事業

前橋市の福祉や教育に寄与するため、各方面からのご協力をいただき、ゴルフ大会などのチャリティ行事を主催しています。



☆市民交流事業

地元自治会と共同で田植えから稲刈りまでの米作り体験や、人気落語家の演芸会など、前橋市民の皆さんとの交流を企画しています。



平成22年度地域委員長

新井 義宗

ひとえに道と言ってもいろいろあります。
石畳道、木道、土道、草道といった自然の道。
栄光・希望・将来・勝利・成功の道といった成就の道。
武の道、拳の道、剣の道、学問と鍛錬を伴う道。
道は、平坦でやさしい道ばかりではありません。ほとんどの道はきびしく大自然の猛威にさらされ形成されています。
そんな道を、先人達は一步、一歩確実に踏み締め固めたからこそ、今の商工会議所青年部があるのだと思います。この歴史ある道と一緒に歩んでくれた地域委員会の信友に感謝と共に礼儀申し上げます。

平成23年度地域委員長

倉林 健

「街づくりは人づくりから」をテーマに食による地域活性化を目指します。



新井 義宗

倉林 健

平成22年度地域委員会メンバー

- ★新井義宗 (今年度/総務委員会)
- ★寺島崇雄 (今年度/広報委員会)
- ★井上直也 (今年度/経営委員会)
- ★宇野友洋 (今年度/総務委員会)
- ★木暮一裕 (卒業)
- ★中村丙午 (今年度/事業委員会)
- ★大澤栄一郎 (今年度/経営委員会)
- ★桑山勇一 (今年度/地域委員会)
- ★富澤吾一 (今年度/広報委員会)
- ★深澤和之 (今年度/地域委員会)
- ★岸部平 (今年度/広報委員会)
- ★池田広之 (今年度/総務委員会)
- ★佐川哲一 (今年度/事業委員会)
- ★井上荘志郎 (今年度/地域委員会)
- ★宮下博和 (今年度/地域委員会)
- ★伊藤貴宏 (今年度/事業委員会)
- ★曾根利光 (今年度/地域委員会)
- ★塩原健 (今年度/地域委員会)
- ★寺沢勇 (今年度/事業委員会)
- ★鳥越淳司 (今年度/経営委員会)
- ★永井鉄平

★委員長 ★副委員長 ★理事 ★担当副代表

自己研鑽

高等育成事業
「葉の拳で打つ、此の技術」
講師：林読売巨清
主催：群馬県商工会議、前橋市商工大会 主管：前橋商工会議所青年部



2月例会：群馬県青連特別講演会 講師：読売巨人軍球団代表 清武英利

「経済人の資質を高めるために」

経営委員会は私たち青年経済人のスキルアップに役立つ活動を担当します。

前橋市の発展は地元企業の繁栄、さらには経営者の知識見識を高めることが重要です。税法務などの必須知識、前橋市の施政方針、景気の動向等のさまざまな講演会や勉強会、先進地や先進企業への視察研修、一寸変わったところでは座禅、滝打ちといった精神修養も実施しています。

☆講演会・勉強会

各界の先達による講演会や、経営者にとって必須の税法務の勉強会の開催、さらには座禅や滝打ちなどの心身鍛錬にもチャレンジします。



☆視察研修旅行

先進地や先進企業を視察し経済人としての見聞を広めます。一企業一人ではなかなか体験できない、貴重な研修の機会が得られます。

☆市政懇談会

前橋市長や副市長をお招きし施政方針の講話を伺い、また市民の立場からの提言や質疑応答などを通じて、企業と行政とのより良い連携を築きます。



平成22年度経営委員長

小林 祐介

平成22年度経営委員会はすばらしいメンバーに恵まれ担当する2つの例会を無事開催することができました。「行政との懇談例会」では3年ぶりに高木前橋市長・齋藤副市長を講師に迎え開催しました。「講師例会」は若手経営者育成事業としての開催となり、読売巨人軍の清武球団代表をお呼びすることができました。開催にあたり企画・準備・運営など経営委員会のメンバーをはじめ多くの会員の方や事務局、関係した全ての方に協力いただいたことに感謝しております。1年間ありがとうございました。

平成23年度経営委員長

宮下 学

青年経済人としてお互いに飛躍できる事業を企画します。



平成22年度経営委員会メンバー

- ★小林祐介 (今年度/総務委員会)
- ★長坂雅紀 (今年度/広報委員会)
- ★塚越正浩 (今年度/会員委員会)
- ★神澤敏夫 (今年度/事業委員会)
- ★阿久津洋 (卒業)
- ★三輪洋之 (卒業)
- ★佐藤敬 (今年度/会員委員会)
- ★後藤寛之 (今年度/経営委員会)
- ★中嶋薫 (今年度/広報委員会)
- ★立見公一 (今年度/会員委員会)
- ★山口拓也 (今年度/会員委員会)
- ★鷹橋英治 (今年度/会員委員会)
- ★池津崇延 (今年度/地域委員会)
- ★藤咲英樹 (今年度/経営委員会)
- ★小池常雄 (今年度/経営委員会)
- ★渡辺大介 (今年度/経営委員会)
- ★若井良昭 (今年度/地域委員会)
- ★長島毅 (今年度/地域委員会)
- ★市村豊嵩 (今年度/地域委員会)
- ★門倉稔 (今年度/経営委員会)
- ★永井鉄平

★委員長 ★副委員長 ★理事 ★担当副代表

親睦交流



青年部クリスマスパーティー

メンバーの絆を深めるために

会員委員会は緑水会の「入り口」です。新入会員はまずここに属し、緑水会の基本知識を学び、自分が何をしたいのか考えて次年度各委員会に進みます。

また、緑水会内の親睦交流も主にこの委員会が担当します。緑水会活動の成功は全会員の絆、さらには家族の理解が不可欠です。そのためにも会員本人だけではなく家族同士も楽しく交流できるイベントを企画しています。

☆ファミリー親睦事業

クリスマスパーティーや、そば・うどん打ち、マス釣り大会など、家族ぐるみで交流できるイベントです。



☆会員募集

さまざまな方面に勧誘活動を行い、私たちの新たな仲間を募集します。

☆新入会員研修会

会議所についての基礎知識や各委員会の活動内容を学びます。



平成22年度会員委員長

宮下 学

会員委員会は緑水会の「入り口」であり、新入会員が参加しやすい委員会を目標に1年間活動をしてまいりました。1年を振り返ると、多くのご家族に参加していただいた7月の「うどん打ち体験」、12月の「クリスマス例会」、やり甲斐のあった前橋まつり「大人みこし部会」といった事業がありました。会員委員会皆さんの積極的な参加、そして皆さんの積極的な参加、そして団結があったからこそ無事に乗り越えることができました。また執行部、事務局、関係者の皆様からのご協力ご支援にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

平成23年度会員委員長

関 直人

会員さらには家族同士の親睦を深め、新入会員に緑水会の魅力を伝えます。



宮下 学

関 直人

平成22年度会員委員会メンバー

- ★ 宮下 学 (今年度/経営委員会)
- ★ 大島昭夫 (卒業)
- ★ 寺澤達也 (今年度/地域委員会)
- ★ 萩原 勝 (今年度/事業委員会)
- ★ 八木原重雄 (今年度/総務委員会)
- ★ 天田洋平 (今年度/地域委員会)
- ★ 小倉秀之 (卒業)
- ★ 深澤哲生 (今年度/事業委員会)
- ★ 柳井誠一 (今年度/会員委員会)
- ★ 中島伸二 (今年度/事業委員会)
- ★ 遠藤宗司 (今年度/経営委員会)
- ★ 渡邊辰吾 (今年度/経営委員会)
- ★ 高橋慎二 (今年度/経営委員会)
- ★ 韓 真希 (今年度/総務委員会)
- ★ 林和 典 (今年度/地域委員会)
- ★ 綿引真之介 (今年度/総務委員会)
- ★ 藤生武久 (今年度/経営委員会)
- ★ 樋口拓人 (今年度/事業委員会)
- ★ 船山みなみ (今年度/事業委員会)
- ★ 樋口朋幸 (今年度/経営委員会)
- ★ 堀口晃一 (今年度/事業委員会)
- ★ 岩下昭成 (今年度/経営委員会)
- ★ 福井優一 (今年度/経営委員会)
- ★ 春山和久 (今年度/総務委員会)
- ★ 田中加奈 (今年度/会員委員会)
- ★ 佐藤有紀 (今年度/会員委員会)
- ★ 齊藤美由希 (今年度/会員委員会)
- ★ 丸橋美由希 (今年度/会員委員会)
- ★ 西巻佐和子 (今年度/会員委員会)
- ★ 阿部知章 (今年度/会員委員会)

情報発信



☆活動を記録しPRするために

広報委員会は、緑水会の「声」の役割を担当します。緑水会が実施する事業に関して、担当委員会と密に連携し、事前告知、写真撮影、記録保管といった作業を担います。

緑水会内部の情報共有はもとより、当会の存在と活動内容を外部に広く紹介し、より多くの方から当会へのご理解ご援助をいただく為、様々な媒体を通じて効果的なPR活動を実施しています。

☆活動PR

当会ホームページや商工まえばしへの掲載、マスコミ各社へのプレスリリース等の情報発信を実施します。



☆記録保管

活動風景を写真や動画で記録し、そのデータを整理して保管します。



☆広報誌

主に一般市民を対象とする「前橋まつりイベントガイド」と、主に緑水会周辺を対象とする「水と緑」、春と秋に発行するこの2大広報誌を主軸として、その他事業内容に応じて随時PRパンフを製作・配布します。



平成22年度広報委員長

福田 聡樹

広報委員会が設立されて3年、初代林委員会がゼロから立上げ、2代目塩谷委員会で質を向上し、私の代で安定期に入る心積もりでしたが、なかなか力及ばず委員会メンバーにも随分ご苦労をおかけしました。

広報には「途中経過が見えにくい」特徴があります。また本誌やお祭りガイドのような成果物も10年20年と積み重ねはじめて「伝統の証」と成り得ます。HPニュースやプレスリリースなどのPR活動も毎月こなしてきましたが、広報が1年間突っ走ることができた最大の原動力

平成23年度広報委員長

長坂 雅紀

緑水会の「場」…「目的」と「意義」を大切に記録保管し緑水会の魅力を広く内外部に紹介したいと思っています。



は、「ぜひPRしたい記録に残したい」と感じる活動を各委員会が実施されたことに間違いありません。緑水会の歴史を刻み、さらに魅力をPRする役割を担えたことに感謝します。1年間ありがとうございました！

平成22年度広報委員会メンバー

- ★ 福田聡樹 (今年度/委員長)
- ★ 林豊 (今年度/広報委員会)
- ★ 高橋功二 (今年度/事業委員会)
- ★ 堀三男 (今年度/事業委員会)
- ★ 海老沼孝之 (今年度/地域委員会)
- ★ 重田好文 (今年度/広報委員会)
- ★ 根岸雅一 (今年度/総務委員会)
- ★ 安孫子健 (今年度/広報委員会)
- ★ 岩井俊次 (今年度/地域委員会)
- ★ 田仲恒夫 (今年度/経営委員会)
- ★ 丸橋美由紀 (今年度/会員委員会)
- ★ 池下敦洋 (今年度/会員委員会)

会務運営



「緑水会がさらに前進するために」

緑水会事業が円滑に行えるように、議決機関である年間2回行われる定時総会や毎月の役員会を主管します。また、会全体並びに各委員会活動の「目的」と「手段」をしっかりと見極めながら、各事業の概要・予算が正確であるかチェックします。さらに、緑水会の歴史をしっかりと認識し、「青年部の中長期的課題」について検討する場を設けています。

☆予算管理

年間2回の定時総会(予算・決算)並びに毎月開催される役員会が円滑に進むよう、情報処理を行います。



☆YEG 関連

県内外のYEGとの連携を図り、全国会長研修会、関東ブロック大会への参加を主管します。

☆中長期戦略

緑水会の歴史を踏まえながら、会の目的がぶれない様に周年事業などに向けて、規約、規定に関して考えていきます。

☆緑水会神輿

先輩から受け継いだ歴史ある緑水会神輿の意義を理解し、毎年開催される前橋まつりに参加することで、前橋市の街づくりに参画すると共に、特別会員である先輩並びに現役会員との親睦を図ります。

平成22・23年度総務委員長

高野 和之



自分自身この1年間を「バランス感覚を保ちながら、コミュニケーションを大切に、会員親睦を図る」という目標のもと総務委員長の大役を務めさせていただきました。無事に責任を全うできたことは一重に委員会メンバーに支えていただいたからこそだと、感謝申し上げます。来年度も引き続き、大役を仰せつかりましたので、より一層の責任感を持って取り組んでいきたいと思っております。

会社経営並びに緑水会活動をするにあたり、経営者にとって決して優しくない時代が続いていきます。当会は本業が優先の会だとはいえ、少なからず時間をとられてしまいます。しかしながら様々な人と出会い、見識を深め、



利害関係のないところで一生懸命行事に参加することは、経営者として必ず得るものがあると思います。今は気づかなくとも、精一杯やったことは、時間がたつて必ず自分の糧になるものだと思います。

「物事を中途半端に無難にこなすより、一生懸命、積極的にやっただときの方が、自分自身に納得がいく!」。このぐらいの気持ちで今年度1年間頑張ってみようと思います。

平成22年度総務委員会メンバー

- ★高野和之 (今年度/総務委員会・副代表)
- ★森本克哉 (今年度/監事)
- ★倉林 健 (今年度/地域委員会)
- ★野村雅弘 (今年度/地域委員会)
- ★久保田雅幸 (今年度/広報委員会)
- ★植木威行 (今年度/総務委員会)
- ★星野大輔 (今年度/経営委員会)
- ★木村道俊 (今年度/広報委員会)
- ★本多秀彰 (今年度/役員委員会)
- ★岡村好樹 (今年度/総務委員会)
- ★久保 誠 (今年度/地域委員会)
- ★今井宏紀 (今年度/地域委員会)
- ★阿部知章 (今年度/地域委員会)



9月例会 林家たい平独演会



第67回定時総会



地域チャリティゴルフ例会

9

8

7

6

5

4

緑水会の主な行事

- 19日 厚木Bリーグランプリ視察
- 11日 海外視察研修会(台湾(11日)13日)
- 6日 9月例会 林家たい平独演会
テーマ「笑顔のもとに、笑顔が集まる」
講師：林屋たい平氏
- 30日 行政との懇談例会
テーマ「市民力・地域力を活かしたまちづくり」
講師：前橋市長 高木政夫氏
- 29日 第3回「前橋うTON飯」試食会
会場：日典ラサ前橋
- 14日 第55回前橋花火大会
- 16日 7月例会 ファミリー親睦例会
うごん打ち体験教室
- 19日 第2回「前橋うTON飯」試食会
会場：日典ラサ赤城野
- 2日 経営勉強会 座禅会
会場：曹洞宗 高岑院
- 24日 第67回定時総会
- 13日 田植え体験
- 17日 チャリティーゴルフ例会
- 22日 マチダ平和資料館見学会
- 18日 第19回ローズ・クイーンコンテスト最終審査
- 5日 新年度4月例会
- 4日 第19回ローズ・クイーンコンテスト1次審査

年表：22年度活動

HISTORY 2010 - 2011

前橋市の主な行事

- 春のぼら園まつり
- 赤城南面千本桜まつり
- 大胡ぐりーんからわー牧場桜まつり
- 第11回前橋シニアマラソン
- 赤城山つつじまつり
- 萩窪公園アジサイまつり
- 田口町ほたる祭り
- 前橋セタまつり
- 大胡祇園まつり
- 前橋セタまつり
- 第22回赤城山夏祭りジャズフェスティバル
- 前橋花火大会
- ホリデーイン前橋
- 赤城大沼白樺マラソン
- 前橋花火大会
- 前橋市生涯学習フェスティバル2010
- 前橋げやき並木フェスタ2010
- 赤城大沼ワカサギ釣り解禁
- 風のまち音楽祭
- 赤城山ヒルクライム

T O P I C S

- 8月 広島・原爆の日 平和記念式典にアメリカの代表が初めて出席
臓器移植法改正後初の移植手術、全国5箇所で行われる
チリ鉱山事故 生理めの33人の生存が確認される
- 9月 沖繩・尖閣諸島沖で中国漁船と海上保安庁の巡視船が衝突
民主党代表選挙 菅首相が再選
元俳優・押尾学被告に保護責任者遺棄罪で2年6ヶ月の実刑判決
北朝鮮・金正日総書記の三男・ジョンウン氏が軍の大將に任命
- 10月 ノーベル化学賞に北海道大学の鈴木章名誉教授と米・バドュー大学の根岸英一特別教授
チリ落盤事故 閉じ込められた作業員33人を救出
事業仕分け第3弾が開始 特別会計にメス
- 11月 尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件 衝突映像がネットに流出
アジア太平洋経済協議会議(APEC)が横浜で開幕
北朝鮮軍、韓国の延坪島に砲
- 12月 東北新幹線「東京～新青森間」で全線開通
市川海老蔵さん傷害事件で26歳男性を逮捕
取手市の路線バスで無差別殺傷事件
- 1月 箱根大学駅伝 早稲田大学が18年ぶり総合優勝
霧島連山・新燃岳が52年ぶりの噴火
サッカーアジアカップ 日本史上最多4度目の優勝
- 2011年 2月 新日鉄と住友金属が合併で合意
八百長メールで大相撲春場所が中止
ニュージーランドのクライストチャーチでM6.3の地震発生
上野動物園に中国からジャイアントパンダが来園
- 3月 京都大学入試でYahoo!知恵袋を利用してカンニングを行った予備校生が逮捕
前原外務大臣が外国人からの政治献金を受けた責任をとり辞任
中東・北アフリカ諸国で民主化運動が激化
東北地方太平洋沖地震が三陸沖で発生しマグニチュード9.0を観測し岩手県、宮城県、福島県、茨城県に甚大な被害をあたえた。



ご当地グルメ大集合



第19回上州空っ風凧揚げ大会in前橋



第62回前橋まつり

3

2

1

12

11

10

24日 第66回定時総会

18日 第30回全国大会みやぎ・仙台大会(18日～19日)

5日 第19回上州空っ風凧揚げ大会in前橋
&ご当地グルメ大集合

4日 2月例会：群馬県青連特別講演会
テーマ「言葉の拳で打て～ 巨人の叱る技術」
講師：株式会社読売巨人軍 球団代表 清武英利氏

25日 前橋発B級グルメ「うTON飯」
セブオンよりお弁当販売開始(2月21日までの期間限定)

18日 もち米試食会

7日 新春例会

19日 青年部クリスマスパーティー

11日 おおた食と光の祭典「前橋うTON飯」出店

6日 合同親睦会
会場：アモート若宮

4日 第4回「前橋うTON飯」試食会

20日 卒業生送別記念事業 京都・名古屋(20日～22日)

14日 第3回緑水会&
群馬ダイヤモンドペガサス少年野球教室開催

22日 新入会員研修会

17日 行田市B級グルメ大会「前橋うTON飯」出店

11日 関東ブロック大会太田大会

9日 稲刈り体験

9日 第62回前橋まつり(9日～10日)

まえばしサイクルフェスタふれあいサイクリング
駅からハイキング「桜咲く朝太郎の散歩道」
前橋中心商店街 ツナガリズム祭り

第21回赤城山雪まつり
第50回全群馬近代げレコンクール

第53回全国日本実業団駅伝「ユナイター」駅伝開催
前橋初市まつり
前橋空襲と都市復興(臨江園)
「ユナイター」駅伝2011inぐんま

二日ワケン博物館

アマチアちんどん競演会う前橋
第22回前橋ウォーキングジャンボリー

マンドリンのまち前橋 朔太郎音楽祭
ウインドミルフェスティバル
赤城山麓いこの里まつり

第62回前橋まつり
グッドぐんま

- TV…FIFAワールドカップサッカー、日本×パラグアイ、バンクーバーオリンピック、WBC世界フライ級タイトルマッチ 亀田×ボンサレック、龍馬伝、ゲゲゲの女房、月の恋人～MoonLovers～
- 書籍…<芥川賞>赤染晶子「乙女の密告」、朝吹真理子「きことわ」、西村賢太「苦役列車」
<直木賞>中島京子「小さいうち」、木内昇「漂砂のうたう」、道尾秀介「月と蟹」
<2010年年間ベストセラー>岩崎夏海「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら」
- ビジネス書籍…「伝える力」「話す」「書く」「聞く」能力が仕事を变える」池上彰 著 PHP研究所
「マネジメント 基本と原則【エッセンシャル版】」J.P.F.ドラッカー 著 上田惇生 訳 ダイヤモンド社
- 言葉…iPad、(クロス)カップリング、無線社会、3D、AKB48、K-POP、～なう、いい質問ですね、名ばかり高齢者、イクメン
- 日経平均株価…10,592円(2/7終値)
- 円相場(ドル)…82.32円～82.34円(2/7)

- 2010年 4月 国土交通省が高速道路の新料金を発表
ポーランド大統領権力が墜落 大統領夫妻らが死亡
アイスランドで火山が噴火 世界の空が混乱
- 5月 中国で上海万博が開幕
宮崎県で家畜の伝染病・口蹄疫が拡大
携帯情報端末「i-Pad」が日本でも発売
- 6月 鳩山首相が辞意を表明 小沢幹事長も辞任へ管新内閣が発足
サッカーワールドカップ 日本代表が2大会ぶりの決勝トーナメントへ
- 7月 参議院選挙 与党・民主党が大敗 再びねじれ国会へ
FIFAワールドカップ スペインが初優勝
金賢妃元死刑囚が来日 拉致被害者の家族と面会

平成23年度前橋商工会議所青年部組織図

ORGANIZATION DIAGRAM



会員数111名：平成23年4月1日現在

年度別名簿

- S41年度生
 井坂 孝次 稲村 啓
 海老沼孝之 重田 好文
 中村 丙午 根岸 雅一
 星野 洋一 八木原重雄
- S42年度生
 新井 義宗 大澤栄一郎
 桑山 勇一 富澤 吾一
 深澤 和之 深澤 哲生
 森本 克哉
- S43年度生
 岸部 平 長坂 雅紀
 中津山俊輔 林 豊
 福田 聡樹 星野 大輔
 吉田 将輝
- S44年度生
 安孫子 健 阿部 知章
 池田 広之 井上荘志郎
 大淵 尚親 木村 道俊
 佐川 哲一 佐藤 敬
 塚越 正浩 寺澤 達也
 春山 和久 樋口 朋幸
 亦野 高裕
- S45年度生
 植木 威行 川本 憲和
 久保田雅幸 後藤 寛之
 寺島 崇雄 永井 鉄平
 町田 憲昭 宮下 博和
- S46年度生
 伊藤 貴宏 井上 直也
 岩井 俊次 関 隆行
 曾根 利光 堀口 晃一
 本多 秀彰 宮下 学
- S47年度生
 岡村 好樹 神澤 敏夫
 倉林 健 塩原 健
 高野 和之 田仲 恒夫
 寺沢 勇 中島 薫
- S48年度生
 五十嵐勝治 亀井 太一
 久保 誠 関 直人
 立見 公一 鳥越 淳司
 野村 雅弘 山口 拓也
- S49年度生
 熊木 宏 鷹橋 英治
 萩原 勝 羽生田泰文
 平形 敦史 柳井 誠一
- S50年度生
 池津 崇延 遠藤 宗司
 中島 伸二 藤咲 英樹
 牧口 幸弘 町田 晶也
- S51年度生
 天田 洋平 宇野 友洋
 高橋 功二 渡邊 辰吾
- S52年度生
 小林 祐介 斉藤 美絵
 須川 和紀 高橋 慎二
 田中 加奈 西巻佐和子
 韓 真希 丸橋美由希
- S53年度生
 岸 久美子 佐藤 有紀
 林 和典 綿引真之介
- S54年度生
 小池 常雄 田子 宏美
- S55年度生
 樋口 拓人 藤生 武久
 渡辺 大介
- S56年度生
 長島 毅 若井 良昭
- S57年度生
 市川 麻紀 今井 宏紀
- S58年度生
 市村 豊嵩 門倉 稔
- S59年度生
 高木 則之
- S61年度生
 黛 若葉 福井 優一
 船山みなみ

Welcome New Members !

新入会員紹介

平成22年度入会された会員を紹介します。
(平成23年2月役員会承認まで)



韓 真希
南アクアポット



高橋 慎二
群馬地盤調査研究所



林 和典
Ristorante di caffe in natura Vivace



藤生 武久
株式会社一条工務店群馬



深澤 哲生
大橋サイン



中島 伸二
中島工業



船山 みなみ
ケービックス㈱



樋口 朋幸
ソネット㈱



堀口 晃一
株式会社INFINITY



福井 優一
株式会社経営戦略会議



春山 和久
株式会社春山鉄筋



田中 加奈
美容室アリユール



佐藤 有紀
金信食品㈱



斉藤 美絵
斉藤クリエート食品㈱



丸橋 美由希
朝日印刷工業㈱



西巻 佐和子
西巻会計事務所

VOICES from graduates

長い間お疲れさま

卒業会員よりひとこと



阿久津 洋 / 利根電気工業(株) 平成15年5月6日入会

今思うとアツと言う間の8年間だったなあと思います。在籍中は、めんどくせえなあと思うことも多々ありましたが、今思うと普段にはない貴重な経験だったと思います。緑水会の最大の魅力は、この年齢で仕事関係以外、利害関係なくフラットに付き合える仲間が出来ることだと私は思います。仕事で辛い思いをした時も、緑水活動で何度なく救われ、また役員会では会議の手法、議事進行方法など大変勉強になり、貴重な経験をさせて頂きました。また、現役メンバーの皆様には、年会費6万円を有効に利用して下さい。現在の経済情勢下で、企業もいろいろなコスト削減を図る中、貴重な原資を投入し活動をさせて頂いてるわけですから目一杯楽しんで積極的に活動し、得たものを自分自身の財産として、併せて各企業へ持ち帰して下さい。最後になりますが、私が卒業しても、各委員会に年1回くらいは、是非大間々の道楽園を利用して下さいね。8年間色々とお楽しみさせて頂き、お世話になり有り難うございました。



大島 昭夫 / 富士ロイヤルオフィス 平成11年2月4日入会

楽しかった日々は走馬灯のように過ぎ、ついに卒業を迎えました。もし緑水会に入らなかつたら、きっと暗い部屋の中で涙を肴に酒を独り飲み続けていたでしょう。ゴクゴク飲んでブルブル震えていたでしょう。でも緑水会で多くの素晴らしい仲間と出会い、事業委員長も経験し、さまざまな活動を経て、いつか僕の心の中に花が…そう、花が咲きましたよ。それは七色に輝くヒヤシンス。漢字で書くと風信子。花言葉は「スポーツ」。12年間ありがとう。



角張 智之 / (株)ヤマニ熱工業 平成8年4月4日入会

ついに緑水会を卒業する時が来てしまった。まずはそんな感じです。経験してみないとわからないことがある。当たり前のことだけども強く感じていることです。緑水会の活動は、みんながそれを経験することに意義がある。活動をより良くすることは重要だが、最も重要なのは参加し経験することだと思う。自由な発想で、楽しんでもらいたいと思う。そして何かを得てほしい。自由すぎた新入会員時代、緊張の委員長時代、そして卒業年度の幹事。今思えば短い期間だった。しかし、入会当時はずっと続くと思っていた。言い尽くせないほどの経験を、仲間をつくり、そして思い出を作ることができた。そして、このことはこれからの自分にとって、大きな財産になると思う。お世話になった、緑水会会員の皆様、そして緑水会に関わる方々全員に感謝申し上げます。



木暮 一裕 / (株)群馬清風園 平成5年9月3日入会

私が緑水会に入会したのは平成5年9月、当時の金井代表幹事より例会時にバッジを授与して頂いた時の事は、今でも脳裏に焼付いております。瞬間に17年の歳月が経ち、卒業を迎える事になりました。特に印象に残っているのは、入会2年目の前橋祭り部会での“だんべえ踊り部会”副会長に任命され、発足年度だった為、色々な試行錯誤をした記憶が切に残っております。今日のだんべえ踊りの盛り上がりがあるまで夢のようです。想い出話を語れば話尽きませんが、色々な職業の方々とお会いし、活動できたことは一生の財産だと言えるでしょう。最後になりますが、今後ともOBとしてYEGの基本理念である地域貢献活動を微力ですが、後方支援に邁進する気概であります。長い間、大変ありがとうございました。



中田 和郎 / (有)ナカタ 平成9年6月3日入会

平成9年に入会し前半は会社で工場に入りきりだった為、委員会にも出られずに、2次会3次会からの参加も度々ありました。それでも諸先輩方には、大変暖かく接して頂き沢山のことを学ばせて頂きました。この会の良い所は会社の大小年齢に関係なく、お互いを認め例会等を通じて共に経験し成長が出来ることだと思います。後半は年齢温情?も加味され理事入り、又、委員長も務めさせて頂きました。寂しい気持ちでいっぱいですが活躍を楽しみにしています。緑水の皆さん、事務局の皆さん、楽しい時間を本当に有難うございました。



堀 三男 / 堀建築 平成12年2月4日入会

緑水会に入会したのは今から10年前に成ります。緑水会に入会して沢山の会員の皆さんと、知り合いになり自分自身と回り、ふた回りも大きくなれたように思います。委員長に成ったことで、より会員の皆さんと仲良くなり、迷惑もかけてしまったり、自分自身を磨けたように思います。OBながらも愛変わらずお付き合いが出来れば良いと思います。



町田 信明 / (株)ブレーンストーミング 平成17年6月3日入会

45歳で卒業を迎える緑水会。大人の考えを持ちつつも常に活性化を図れるちょうどいいところなのだろう。しかし、自分の番がやってくるとやはり寂しい。自分や自社の利害に関係のない責任をちょっと背負う。難しくも、楽しくもある。100人からの会だから話したくない奴もいるんだろうなあ、と思ったが意外にそうでもない。もちろん卒業してからも友達でいたい仲間も出来た。私の緑水会活動を支えてくれた先輩方、現役メンバー、事務局、ローズクィーン、そして会社の仲間たち、ありがとう。最後に、「わが緑水会は永久に不滅です」と言っておこう。



三輪 洋之 / (株)加藤会計センター 平成13年3月5日入会

入会時、色々な活動に積極的に参加したいと抱負を述べたと思うのですが、実際には不完全燃焼に終わってしまった気がします。ただ、最後の年に町田代表幹事よりお声掛けをいただき、理事をさせて頂いたことは大変良い経験になりました。お世話になった会員の皆様や会議所の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。



小倉 秀之 / (株)群馬アイエス
平成21年12月4日入会



田村 幸雄 / (有)大地メディカル
平成12年12月4日入会



松本亜希子

はじめに、この度の東北地方太平洋沖地震にて被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興と、皆様に笑顔が戻る事をお祈りしております。

今年度ローズクイーンをもう1年継続させて頂く事となり、大変恐縮しております。

第19代ローズクイーンとして過ごした昨年度の1年間では様々な活動をさせて頂き、新たに前橋市の魅力を発見したり、多くの方に出会い元気と刺激を頂いたり、とても貴重な経験を沢山させて頂きました。

新たに迎えた23年度はこの経験を生かし、観光特使としてより良いお仕事、より実りある1年間にしたいと思っております。1人でも多くの方に前橋市へ興味を持って頂き足を運んで頂けるよう、前橋市が沢山の笑顔で溢れるよう、皆様との新たな出会いを楽しみに務めさせて頂きたいと思っております。

本年度も何卒宜しくお願い申し上げます。



高平茉実

このたびの東日本大震災にて被災された地域の皆様、関係者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。去年の春、大学生として自分が出来ることは何かと考え、私の特技はとびきりの笑顔なので、町の活性化のお手伝いになればと、ローズクイーンコンテストに応募しました。

女の子でしたら誰でも夢見るバラの香り漂う中での写真撮影、目の前で観賞した花火大会、初めて担いでお神輿、緊張で張り詰めたラジオやテレビ出演等。様々なイベントに参加させて頂き、たくさんの人と出会い、普段ではできない貴重な体験をさせて頂きました。これからも、精一杯の元気で笑顔を多くの人達に届けていきたいと思っております。

人は一人ではなく助け合いながら様々な困難を乗り越え、人々の力で必ずや復興を果たし、また希望に満ちた日が訪れることを心よりお祈り申し上げます。そしてローズクイーンとして応援し続けていきたいと思っております。

編集後記

今号は「水と緑」がリニューアルされてから4号目にあたります。映画や小説等でも3部作ひと区切りが多い中、3作目が優秀すぎて4作目は期待はずれになることが多く、作り手としてプレッシャーは感じていました。期待はずれになる理由には「期待が高すぎる」「趣向を変えず見て見る側がついていけない」など理由は様々ですが、「水と緑」に関してはこの4年間で完成された物を壊すのではなく、良いところは残しつつ今号のテーマである各委員会にスポットをあてることにより、各委員会の役割を分かりやすく内外へ発信するための資料になるように広報委員会で行錯誤いたしました。

デザインは前号よりコテコテになつたような気がしますが、ご一読いただければ緑水会活動が手にとるように分かる内容になっておりますので、会員登録の一役にたつていただければ、平成22年度の広報委員会として肩の荷が下ります。

多忙な中、原稿依頼を快く引き受けて頂いた皆さま、編集を支えていただいた広報委員会の皆さま、ご協力ありがとうございました。

平成22年度広報委員会 副委員長

高橋 功二

前橋うTON飯



09.5.19 富士宮やきそば学会の渡辺孝秀先生を招いての勉強会。
富士宮やきそばのルーツなど町興しについてのノウハウを学びました。



09.10.24 市民参加型ワークショップ数回開催
ブレンドストリーミング方式を採用し小学生から60才代までの幅広い年齢層が意見を出し合いレシピ、料理名を決定。この時に『うTON飯』という名が決定しました。



試作品作り、試行錯誤のすえ、荒削りながらも「うTON飯」の原型が完成！その後、数回にわたる、緑水会メンバーによる試作会を行いました。

10.2.14 ふれあいフェスティバルB級グルメ試食会
当会主催の上州空っ風凧揚げ大会内にて第1回無料試食会を開催、またアンケートを実施し、大半の方に『美味しい』と評価を頂きました。その後、第2回、第3回と無料試食会を開催。



10.10.17 行田市B級グルメ大会出場！
行田市役所の方から出店依頼を受け、正式デビューの場として大会に参加。第3回無料試食会の際にテレビ東京「アド街ック天国」の取材を受け、行田市B級グルメ大会前日に放映されました。この「アド街」内で大々的にクローズアップされ結果は1,350食完売致しました。



10.12.11 「おおた食と光の祭典」出店
おおた食と光の祭典事業実行委員会より出店依頼を受け再度実力試しの為参加、用意していた食数では不足、食材を買い足しての販売。

11.1.25 コンビニエンスストア「セーブオン」にて「うTON飯」弁当販売！！
平成23年1月25日（火）にセーブオンとのコラボレーション企画として、「群馬・埼玉・栃木・茨城・長野・千葉限定」の合計384店舗で約1ヶ月間の期間限定販売をいたしました。



11.2.5 県内ご当地グルメ大集合！！
当会主催の上州空っ風凧揚げ大会と同時開催のイベントに出店。初めての主催、そして地元での初の大々的な販売でしたが見事完売。



協力店ご紹介ください

今後の課題の一つとして協力店の拡大があります。「飲食業をされている」「知人が飲食店を営んでいる」「行きつけの飲食店」などご紹介ください。ご連絡は前橋商工会議所青年部 事務局までお願いいたします。



Photo: 前橋うTON飯

前橋うTON飯ブログ <http://ameblo.jp/uton-meshi>

join ryokusui

110人の若き
企業者ネットワーク

緑水会の会員数は約110名、さらにOBは200名を超え、地元の商工業のあらゆる分野にネットワークが広がっています。

緑水会 OB からのメッセージ



厳しい時代だからこそ人脈を広げることが重要です。緑水会で出会える仲間との絆が大きな財産になります。

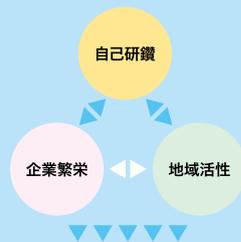
平成8年度会員委員長
西川定男先輩(60)
(株)西建 代表取締役社長



人は一人では生きられません。奉仕する「利他の心」が必要です。心を磨いてください。

平成11年度会員委員長
星野哲也先輩(56)
(株)ヤクルト本社 東日本支店長 兼
群馬ヤクルト販売(株) 代表取締役社長

新入会員募集



前橋商工会議所青年部緑水会とは、さまざまな活動を通じて、異業種の仲間たちとの人脈を広げ、お互いに教え学び合い、青年経済人としての資質を磨き、地元企業の繁栄と前橋の発展を目指す公益団体です。

緑水会では前橋の青年経済人を対象に広くメンバーを募集しています！

…………… <会員条件> ……………
*前橋市在住もしくは事業を営んでいる経営者、または管理者に準ずる方。
*満20歳以上45歳未満の方。

…………… お問合せは緑水会事務局 ……………
TEL.027-234-5111

緑水ウェブ <http://www.maebashi-yeg.com>